

IFMSA-Japan SCORA 説明資料

- I, 団体概要
- II, 活動内容
- III, 活動の背景となる社会的課題
- IV, 活動がもたらす社会へのインパクトや効果
- V, 2013年度活動実績
- VI, メディア掲載情報

I, 団体概要

IFMSA-Japan(国際医学生連盟 日本) SCORA(性と生殖・AIDS に関する委員会)は全国規模で活動を展開する医療系の学生団体です。

母体であるIFMSA(国際医学生連盟)はWHO(世界保健機関)、WMA(世界医師会)によって医学生を代表する国際フォーラムとして認められ、ECOSOC(国連経済社会理事会)の会員資格をも持つ、非営利・非政治の国際NGOです。IFMSAの日本支部であるIFMSA-Japan(HP: www.ifmsa.jp)には6つの常設委員会が存在し、そのうちの1つがSCORAです。

SCORAでは、一般市民、特に若者の性に関する知識や意識を向上させることを目指し、医療系学生を中心にHIV/AIDS、セクシャルマイノリティ、ならびに生殖医療についての知識を深めることを目指し、以下の2つの公式プロジェクトを持ち活動を展開しています。

1. Peer Education Project

大学生が性教育の出前授業を行います。その他、若者を主な対象に性の啓発活動を行います。

2. Rainbow Flag Project

セクシャルマイノリティの社会的認知度と理解の向上を、医学生の立場から進めます。

II, 活動内容

出前授業として中学校・高校・大学に赴き、大学生が性教育をピアエデュケーションという形式で行います。「ピア(Peer)」には「同輩、仲間」という意味合いがあり、ピアエデュケーションとは、先生対生徒といった師弟関係ではなく、年齢の近い大学生同士や大学生から中高生といった関係性を活かして行われる教育を指します。一方的に性に関する知識を与えるだけでなく、知識をもとに自ら判断し共に学ぶ教育を目指しています。「共に学び、一緒に考える」ことに重点を置き、講演形式だけでなく、少人数のグループワークの実施も行っています。また、実施前に学校の先生方と話し合いを重ねることで、対象や学校のニーズをふまえたピアエデュケーションを行っています。

SCORA で現在扱っているテーマとその意義は以下の通りです。

[セックス][妊娠と出産・中絶][避妊と避妊法としてのピル／コンドーム]

セックスをすれば子供を授かる可能性は決してゼロではないため、安易な気持ちでのセックスを避けること、自分とパートナーの気持ちを大切に話し合うこと、また、命が生まれてくることの奇跡、中絶が心身を傷つける行為であるということから、望まない妊娠を避けるための方法としてピルとコンドームを使った避妊について共に考えます。さらに、妊娠と年齢の関係性を伝え、若年での妊娠や適齢期を過ぎてからの妊娠のリスクを知ること、将来のライフプランを若いうちから考えていくことの大切さについて共に考えます。

[性感染症、HIV/AIDS][性感染症予防のためのコンドーム]

性感染症は身近に考えるべき問題であり、セックスには性感染症のリスクが伴うこと、性感染症の怖さ、定期的に検査を受けに行くことの大切さ、性感染症予防としてコンドームを用いた予防方法について共に考えます。また、性感染症の中でも特にHIV/AIDSについては、早期発見により発症の予防こそ可能な時代となりましたが、完治治療が存在していないという現状について伝え、当事者の抱える問題について共に考えます。

[セクシャルヘルス／LGBT(性の多様性)]

若い世代の人が自身のセクシャリティを肯定的にとらえられるように、自分の性について見つめ直すきっかけを与えます。さらに、多様な性(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー)の在り方を知り、自分と違うセクシャリティを差別や偏見なく受け入れることについて共に考えます。

[月経] [食生活/ダイエット]

個人差があることだからこそ抱え込みがちな月経についてや、気にしがちな体型について知ることで、自分と自分の大切な人の体を愛しむことについて共に考えます。

Ⅲ、活動の背景となる社会的課題

1. 日本の「寝た子を起こさない」教育

現在、日本ではパソコンや携帯電話の普及により、容易にアダルトサイトに接続できる環境があります。その一方で教育現場では、古くから根付いた、性の知識を与えることが性行動の助長に繋がるといった所謂「寝た子を起こさない」考えのもと、性教育は積極的には行われていません。そのため、教育現場でないところで不確かな情報を得たり、誰にも相談できず1人きりで抱え込んだりする若者も多く、望まない妊娠や性感染症の感染は途絶えることがありません。だからこそ、教育現場において自分とパートナーのことを守り愛しむことや、性について「自分ごと」として考える機会が必要だと考えます。

2. 多様なセクシャリティに対する無理解や偏見

日本におけるLGBTの認知度は欧米諸国と比べると依然低く、異性愛や体と心の性別が一致しているのが当たり前とされる社会の中で多くの人が生きづらさを感じています。例えば教育現場において、LGBTの子どもが学校内で誰にも自身のセクシャリティを打ち明けることができなかつたり、話しても教師

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

や同級生から理解されず、いじめを受けたりすることから LGBT の子どもの自殺率はそうではない子どもに比べ高い現状があります。また、職場や医療現場などでも差別や偏見があり、居心地の悪い思いをしながら生活する人は多いです。さらに、日本では同性婚やパートナーシップ制が認められていないため、家族を持つという夢を思い描けず苦しむ人も多く存在しています。だからこそセクシャリティの多様性について広く多くの人に知ってもらうことで、すべてのセクシャリティの人が生きやすい社会を構築することが必要だと考えます。

IV, 活動がもたらす社会へのインパクトや効果

1, ピアエデュケーション対象者の自己肯定感の向上

正しい性の知識の共有と同時に、思春期特有の性の悩みについて対象者がそれぞれの立場で考えることで自己肯定感の向上を目指します。

2, 医療現場に残る当事者への差別・偏見の根絶

近い将来、医療に従事する医療系学生に対してピアエデュケーションを行うことで、医療現場での HIV 陽性者、セクシャルマイノリティ当事者への差別・偏見の根絶を目指します。

3, 教育現場においての生徒に寄り添う性教育の普及

多くの地域で行われている私たちの活動を日本の教育現場にアピールすることで、生徒に寄り添う性教育の重要性を投げかけ、日本における性教育の普及や質の向上を目指します。

V, 2013 年度活動実績

昨年度は北海道から九州まで日本各地の高校生や大学生など約 2800 名にピアエデュケーションを実施いたしました。

また今年度も昨年度に引き続き、公益財団法人エイズ予防財団様(www.jfap.or.jp/)が SCORA の活動を評価して下さり、助成団体として多大なるご支援を受け活動させていただいております。

◎SCORA-Japan

●IDAHO ポスター作成

【対象・人数】ポスターを掲示した各大学や店舗に訪れた人々

【日時】5月17日(金)～

【内容】IDAHO(International Day Against Homophobia & Transphobia)に際して、多様な性のあり方について考えてもらうためにポスターを作成し、大学や店舗に許可をとり掲示した。この企画は IFMSA との共同企画であり一部のポスターは世界中の IFMSA に加盟している団体が SNS での共有や大学での掲示を行った。

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

●TICAD V 配偶者プログラム「エイズを考える:日本とアフリカの共通課題」

【対象・人数】アフリカ各国大統領夫人、世界基金事務局長、UNAIDS 次長、横浜市・林市長、スピーカーの方々等

【日時】6月1日(土)

【内容】TICAD V 学生プロジェクトのメンバーと話し合い、日本の「寝る子を起こさない」性教育の問題点と、課題解決の実行主体としてのユースの可能性について、TICAD V 配偶者プログラムにて TICAD V 学生プロジェクトが提言した。

●RP×RA 合同企画

【対象・人数】主に医療系学生 約30名

【日時】6月16日(日)

【内容】SCORP(人権と平和に関する委員会)との合同企画。後天的または生まれつき「見た目」の症状をもつ方とセクシュアルマイノリティーの方をゲストとしてお招きし、社会に存在する「偏見」や「差別」に気づき考えてもらう勉強会を行った。

●SCORA 総会

【対象・人数】主に医療系学生 約60名

【日時】6月22日23日(土・日)

【内容】SCORA で扱うさまざまなテーマについて(HIV/AIDS、LGBT、ピアエデュケーション、SCORA International など)、参加者とスタッフが深く考え、それぞれの想いを共有した

●World AIDS Day メッセージ movie 作成

【対象・人数】メッセージムービーをご覧になったすべての人

【日時】12月1日(日)～

【内容】世界エイズデーに際して HIV/AIDS の啓発ムービーを作成し、SNS で発信した。全国の医学生からの HIV/AIDS に関するメッセージと HIV/AIDS に関する簡単なチュートリアルが盛り込まれ、英語字幕を付けた動画を作成した。

URL: <http://www.youtube.com/watch?v=tCZQp2NXcyA>

◎SCORA 北海道支部

●北海道大学医学展展示

【対象・人数】一般人 60～80名

【日時】6月7日～9日

【内容】性感染症、HIV/AIDS、妊娠のしくみ、中絶、避妊、コンドームの正しい使用法、LGBT、デート DV などについて説明したポスター展示とリーフレットの配布を行った。

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

●北海道大学医学展展示

【対象・人数】来校者

【日時】6月14日～16日

【内容】性感染症、HIV/AIDS、妊娠のしくみ、中絶、避妊、コンドームの正しい使用法、LGBT、デートDVなどについて説明したポスター展示とリーフレットの配布を行った。

●苫小牧高専ピアエデュケーション

【対象・人数】苫小牧工業高等専門学校1年生・212名

【日時】7月19日(金)5、6時間目

【内容】性感染症、HIV/AIDS、妊娠のしくみ、中絶、避妊、コンドームの正しい使用法について扱った。

●ウィズアス講演会

【対象・人数】一般人・約30名

【日時】10月5日(土)13時～17時

【内容】GID(性同一性障害)からGD(性別違和)への変遷における社会的変化について専門家からの講演と当事者も含めたパネルディスカッションを行った。

●琴似工業ピアエデュケーション

【対象・人数】琴似工業高校1、2年生 約600名

【日時】3月13日(水)4時間目

【内容】性感染症、HIV/AIDS、妊娠のしくみ、中絶、避妊、コンドームの正しい使用法、LGBTについて扱った。

◎SCORA 東北支部

●Post NGA in 東北

【対象・人数】主に医療系学生 約10人

【日時】11月30日(土)13時～14時20分

【内容】LGBTをテーマとしたワークショップ(SCORAスタッフによるプレゼンテーション、参加者全員でのディスカッション)を行った。

◎SCORA 東京支部

●一緒に歩こうレインボーパレード

【対象・人数】一般人12名

【日時】4月28日(日)10時～11時30分

【内容】パレードの前に、多様な性のあり方について知り、考えてもらうための勉強会を一般向けに開催した。

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

●駿台津田沼校ピアエデュケーション

【対象・人数】予備校生 約 50 名

【日時】5月29日(水)12時40分～13時20分

【内容】性感染症と子宮頸がんについて扱った。

●ゲイズトーク番組出演

【対象・人数】Ustream、YouTube 配信「ゲイズトーク」を見て下さった方々

【日時】収録日 9月25日 21時～

【内容】ゲイの方向けに、不特定多数の相手とのセックスによる HIV/AIDS のリスクや予防法、検査について説明した。(http://www.brjapan.com/gtalk/27/27_03.mov)

●駿台市谷校ピア

【対象・人数】医学部を目指す予備校生 約 70 名

【日時】11月4日(月)12時40分～13時20分

【内容】性感染症、HIV/AIDS、月経について。「自分にとって身近であること」「将来医療者を目指すものとして今考えておきたいこと」の2点を軸にして行った。

●埼玉医科大学学祭展示

【対象・人数】一般人、学生 約 40 名

【日時】10月26日(土)27日(日)

【内容】「いろいろどりの性を考えよう」をテーマに LGBT についての理解を広める展示を行った。また、埼玉医大の学生に LGBT に関するアンケートを実施し、医学生の LGBT に関する認知度の実態を調査した。

◎SCORA 浜松支部

●ゆずりは学園ピアエデュケーション

【対象・人数】ゆずりは学園生徒約 20 名

【日時】5月25日(土)13時～15時

【内容】月経・SEX・妊娠に関するプレゼンテーションと、コンドーム使用法の実演を行った。

●西園女子学園ピアエデュケーション

【対象・人数】西園女子学園高校1年生約 120 名

【日時】11月30日(土)8時20分～12時10分

【内容】月経に関する基礎知識、月経前症候群や月経困難症に関するプレゼンテーション、グループディスカッションを行った。

◎SCORA 名古屋支部

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

●Medical Students in Aichi 2013～春の合同企画～にてWS

【対象・人数】医療系学生 40人

【日時】6月15日(土)

【内容】医療系学生の交流イベント参加者に性教育を行った。また、エイズデーの意義について紹介した。

●第25回私学サマーセミナーにてピアエデュケーション

【対象・人数】愛知県私立高校に通学する高校生 15人

【日時】7月15日(月)

【内容】高校生を対象に性教育WSを行った。

●Red Ribbon Live in Nagoya アンケートボランティア

【対象・人数】一般の方、約200人

【日時】12月1日(日)

【内容】HIV/AIDSについての正しい知識を持っているか街頭アンケートを行った。

◎SCORA 関西支部

●関西医科大学ピアエデュケーション

【対象・人数】関西医科大学の1年生 約100名

【日時】9月26日(木)

【内容】1年生に向けた性教育を行った。

●関西医科大学学祭

【対象・人数】関西医科大学の学祭に来た一般の方・生徒 推定約50名

【日時】11月2日3日(土日)

【内容】HIV/AIDS 啓発ブースを出展し、立ち寄った方に性感染症についての冊子や予防グッズ、レッドリボンバッジを配布した。

●WAD レッドリボンネイル

【対象・人数】関西医科大学の生徒・教員 約30名

【日時】11月29日(金)

【内容】12/1のWADに向け、サンスターさんに提供いただいたレッドリボンのネイルシールを貼り、HIV/AIDSを含む性感染症について話をした。

◎SCORA 徳島支部

●出張 HIV 検査相談

【対象・人数】一般10～50代性別問わず 約30名

【日時】2013年6月3日(月) 18時00分～18時20分、18時30分～18時50分

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

【内容】徳島保健所主催の「出張 HIV 検査相談」の中で、採血待ちの参加者に対して HIV ミニ講座を行った。

●城西高校ピアエデュケーション(次世代健康教育事業)

【対象・人数】高校1年生+四国大学看護生 1年生 165名(男76名、女89名)+四国大学看護生7名

【日時】2013年7月16日(火) 10時50分~12時10分

【内容】性感染症、がん予防をテーマに、高校生・看護学生を対象にゲームを取り入れながらピアエデュケーションを行った。

●エイズピアサポーター養成研修

【対象・人数】徳島文理大学、徳島大学、四国大学の看護学生、助産学生 44名

【日時】2013年9月6日(金) 10時~16時

【内容】これからピアをする側になる看護学生を対象に徳島保健所がゲストを招き、ピアのやり方やHIV/AIDSを含むSTIについての基礎的な知識を学ぶ。私たちはその中のゲスト団体の一つとして、STIについての講座とSCORA徳島の活動報告を行った。

●出張 HIV 検査相談@徳島文理大学

【対象・人数】徳島文理大学祭に来校者(高校生、大学生、一般) 約30名

【日時】2013年10月20日(日) 11時~12時30分

【内容】徳島文理大学の学園祭で徳島保健所さんが出張 HIV 検査相談を行った。SCORA徳島がゲストとして採血待ちの参加者さんに向けて HIV ミニ講座を行った。

●徳島大学 蔵本祭 高校生企画

【対象・人数】中学3年生、高校1~3年 約60名

【日時】2013年11月4日(月) 11時30分~12時

【内容】高校生を対象に、大学でのサークル紹介も兼ねて、TIFMSA、IFMSA、SCORA 徳島の紹介を行った。「おためしピア」と題して、LGBTIQをテーマに、実際にピアエデュケーションを行った。

●徳島大学 蔵本祭 SCORA ブース LOVE EDUCATION

【対象・人数】蔵本祭参加者(高校生、大学生、一般) 約50名 (アンケート回答者27名)

【日時】2013年11月2日3日(土日) 10時~15時

【内容】HIV/AIDS、性感染症、避妊をテーマに、コンドームの正しい使い方講座を行った。LGBTIQをテーマにポスター展示を行い、SCORA徳島の活動である「虹会」を紹介した。

●出張 HIV 検査相談~世界エイズデー特別企画~

【対象・人数】HIV 検査を受けに来た一般 10~50代 性別問わず 約30名

【日時】2013年12月2日(月) 18時~19時30分

2014年11月9日

IFMSA-Japan SCORA
2014年度責任者 山田舞耶
Email: nora@ifmsa.jp

【内容】世界エイズデー特別企画ということで保健所が実施した「HIV検査相談」の中で、採血待ちの参加者に向けてHIVミニ講座を行った。

◎SCORA九州支部

●IFMSA-Japan九州新歓 SCORA WS

【対象・人数】医療系学生 約40名

【日時】6月9日(日)

【内容】LGBTとHIV/AIDSをはじめとする性感染症について、医療の側面から考え、深め合うワークショップを行った。この様子を西日本新聞でとりあげていただきました。

(http://www.nishinippon.co.jp/feature/life_topics/article/27833)

VI, 近年メディア掲載情報

●2013年7月20日 西日本新聞

http://www.nishinippon.co.jp/feature/life_topics/article/27833

●2014年6月27日 東京新聞 朝刊

●2014年7月31日 J-WAVE TOKYO MORNING RADIO

<http://www.j-wave.co.jp/original/tmr/>

●2014年11月17日 テレビ東京 TOKYOガールリ